学年「単元名」	第5学年「グラフ」
本時のねらい	自分の表したいことに応じて適切なグラフを選択・作成し、棒グラフ、折れ線グラフ、円グラフ、帯グラフの特徴やよさについて捉えることができる。

【授業場面】表計算ソフトを使ってグラフを作成し、特徴や傾向を考察する。

教師の働きかけ ・発問等	児童の活動 ・発言 ○活動
--------------	---------------

【これまでの学習内容と準備物等】

・円グラフと帯グラフの読み取りやかき方を学習している。

※表計算ソフトデータ（数値等入力済）

- 表計算ソフトを使って、棒グラフや円グラフを作成させる。
 - 「グラフ作成ファイル」を開きましょう。
 - シート1「【練習】データ給食」で、棒グラフや円グラフを作ってみましょう。

- 表計算ソフトを使って、棒グラフや円グラフを作成する。
- ・グラフの種類を選んだだけで、いろいろなグラフが簡単にできるね。

好きな給食のメニュー (人)

	カレー	からあげ	ハンバーグ	スパゲティ	その他
人数	18	8	5	3	1

好きな給食のメニュー (%)

	カレー	からあげ	ハンバーグ	スパゲティ	その他
割合	51	23	14	9	3

好きな給食のメニュー

好きな給食のメニュー

好きな給食のメニュー

- 表から読み取ったことをもとに、グラフ作成に向けてのめあてをもつ。

ある町の農業で働く人の数 (人)

	1995年	2005年	2015年
15～39さい	50	32	14
40～59さい	116	72	34
60さい以上	248	232	161

- ・ある町の農業で働く人の数について、1995年、2005年、2015年で、年齢別に整理した表です。
- ・表からどんなことがわかりますか。
- ・どんなことを伝えたいですか。

表からわかること

- ・農業で働いている人は、減っています。
- ・15～39さいが少ないです。
- ・60さい以上が多いです。

表から伝えたいこと

- ・働く人が何人減ったのかを伝えたいです。
- ・どんな減り方をしているか変化を伝えたいです。
- ・それぞれの年の人数の割合を伝えたいです。
- ・全体を1として割合の変化を伝えたい。

- ・グラフの種類にはどんなグラフがありましたか。
- ・それぞれどんな特徴がありましたか。

- ・棒グラフ（差がわかりやすい）
- ・折れ線グラフ（変化がわかりやすい）
- ・円グラフ（割合がわかりやすい）
- ・帯グラフ（割合が並んでいてわかりやすい）

どんなグラフにすると、伝えたいことに合ったものになるでしょう。

3 目的に合わせてグラフを作成する。

	A	B	C	D	E	F
1	ある町の農業で働く人の数（人）					
2		1995年	2005年	2015年		
3	15～39さい	50	32	14		
4	40～59さい	116	72	34		
5	60さい以上	248	232	161		

どのグラフにする？
どの年齢の人数が人数が増えているのか、減っているか調べたいので、人数の変化が分かるようにしたい。

グラフの作り方
①色がついているところを全て選択します。
②挿入（そうじゅう）のタブをクリックします。
③おすすめグラフをクリックします。
④全てのグラフをクリックします。
⑤縦棒（たてぼう）、折れ線、円、横棒（よこぼう）から選びます。

	A	B	C	D
1	ある町の農業で働く人の割合（％）			
2		15～39さい	40～59さい	60さい以上
3	2015年	7	16	77
4	2005年	10	21	69
5	1995年	12	28	60

ある町の農業で働く人の割合（％）
※上の表を年別に分けた表

	A	B	C	D
9		15～39さい	40～59さい	60さい以上
10	2015年	7	16	77
12		15～39さい	40～59さい	60さい以上
13	2005年	10	21	69
15		15～39さい	40～59さい	60さい以上
16	1995年	12	28	60

どのグラフにする？
それぞれの年の年齢ごとの人数の割合の変化を調べたいので、割合を比べられるようにしたい。

4 作成したグラフを共有し、それぞれのグラフのよさや特徴について話し合う。

○作成したグラフについて説明し合う。

MEMO

B 個別学習 B3 思考を深める学習
シミュレーションなどのデジタル教材を用いた思考を深める学習

C 協働学習 C1 発表や話し合い
グループや学級全体での発表・話し合い

ICT 活用
【シミュレーション機能】
【送信機能】
【共有機能】